



# NSバートルクライ

#198

10 / 2023 (134)

## レキシコン - Michael Kühnen

### 39 - 一般路線

新戦線の一般路線は、ナチス禁止期間中の国家社会主義ドイツ労働者党（NSDAP）の党内路線に代わるものである。

国家社会主義における党は、人民の組織された生きる意志を体現し、新秩序に向かうその意志の担い手である（「意志」を参照）。そのために、党員を共通の政治的意思形成に従わせる。党によって組織されたこの意志の形成は、国家社会主義者の内的自由を妨げず、革命を勝利に導くために必要な規律に彼を縛りつけるものである。それは、党是として具体化されている。

**党の方針に従順な者だけが党員になれるのだ!**

党綱領は、党綱領の拘束力のある解釈、党史の提示、国家社会主義の世界観と生活態度の理解の基礎、そして最後に、権力への闘争と権力奪取後の新秩序建設の闘いにおける党の戦略・戦術の定義から構成されてい



ます。国家社会主義革命は、党とそれが強制する党の路線なしにはありえないので、国家社会主義党が存在しないか、禁止されているところでは、国家社会主義者は、党を作るために組織されなければならないのである。

この仕事は、ドイツの新戦線が引き継いでいる。党を設立するための組織的な闘いは、拘束力のある政治路線、この場合は新戦線の一般路線を必要とします。これは、将来の党の路線と同じ問題を明らかにし、戦闘的に自己を主張し、こうして組織された国家社会主義者-国家社会主義党の建設を目的とする規律ある意志を形成することを可能にする。

この一般路線は、もちろん、後の正当な党指導部によって確認されることを条件とし、つまり、当面の間だけ有効である。したがって、新戦線は、NSDAPの再確立のための闘争において、たとえ綱領、歴史認識、思想的定義などの問題で一般路線に同意しないとしても、すべての真の、すなわち善意の国家社会主義者の支援を期待している。したがって、新戦線の一般路線では、戦略と戦術が明らかに前面に出ています。

新戦線の一般路線は、その指導部の実践的な命令と、政治用語集の理論的な説明の中に表現されています。

## 40 - ドイツ

ゲルマン民族はアーリア人種の中核をなす民族である（アーリア人参照）。ローマ人、スラブ人、東インド・ヨーロッパ人とともに四族のひとつで、ヨーロッパ、特に大陸の中央と北部に定住している。人種的には、ゲルマン民族はアーリア系の北方人類型に属し、歴史的にはローマ帝国思想の継承者であり、ローマ崩壊後は帝国の主要な民族的担い手である。

ゲルマン民族の主要な民族はドイツ人である（ドイツを参照）。したがって、本来の国家社会主義は、北欧系ゲルマン人の思考と感覚から生み出されたものであり、もともこの種の人々だけに向けられたものであった。ドイツ帝国は、まず大ドイツ帝国となり、最終的には北欧ゲルマンの血を引くすべての人々を包含する大ゲルマン帝国となった。

この大ゲルマンの願望に忠実に、新世代の国家社会主義は、ゲルマン連邦の枠内で、第四帝国の一部として、ヨーロッパのすべてのゲルマン民族の

統一をめざして戦うのである。

しかし、アーリア民族全体の生存を危うくし、その意志的統一を必要とする第二次世界大戦の歴史的結果と結果によって、今日の国家社会主義は、自らをアーリア民族全体の組織的な生存意志であり、すべての白民族の形成を望んでいるとみなしているのです。この民衆の意思の担い手は、それぞれの国家社会主義政党である（「国家社会主義ドイツ労働者党」も参照）。しかし、このアーリア人種の種の保存と発展のための政治闘争の包括的なコミットメントは、常に北欧ゲルマン人の種と性質に応じた生存とより高い発展を確保するという課題を含むものである。

**Gesinnungsgemeinschaft der Neuen Front**に結ばれた国家社会主義者は、まずドイツ人、次にゲルマン人、次にヨーロッパ人、最後に白人である。

## 41 - MINDED

西洋型民主主義の条件下では、国家社会主義党は合法的革命という戦術を用いる。つまり、国民の大多数を納得させ、現行憲法の枠内で権力を掌握しようとするものである。

これは、日和見主義から行われるものではなく、支配体制への内部適応につながるものでもなく、革命への裏切りを意味するものでもない。むしろ、国家社会主義の目標、すなわち新秩序の基礎としてのフォルクスゲマインシャフトは、国民の大多数に対して達成することはできず、彼らの同意によってのみ達成されるということを理解した結果なのである。だからこそ、国家社会主義党は、革命を裏切ることなく、民主主義の形式的なメカニズムを利用することができるのである。

もちろん、支配体制も、民主主義の形式を尊重することは、それを認めることではないこと、その先にあるのは革命であることを承知している。だから、民主主義国家であっても国家社会党はますます迫害されるのである。特にFRGは、外見上、西欧型民主主義を標榜しているだけで、本質的にはアメリカとシオニズムの支配下にある半植民地的存在であり、本質的に主権を持たない占領地である（Sovereigntyも参照されたい）。

このことは、ドイツ連邦共和国において、自由を求めるヴェルキッシェの意志が特に厳しく迫害されたこと、つまり国家社会主義ドイツ労働者党が

禁止されたことを説明している。とはいえ、こうした状況下でも、新戦線は形式的な民主主義のゆとりを利用している。指導者、幹部、メンバーは意識的に自分の意見を理由に投獄されるなど政治的迫害にさらされ、これを戦略の一部とみなしている。

新戦線は、支持者の投獄を破滅や敗北と見なさず、体制が危険を認識し、この闘いに脅威を感じ、それゆえ運動が正しい軌道にあることを証明するものだと考えている。

新戦線は、支持者の投獄は短期的には問題を引き起こすが、長期的には幹部の強化と強化、過激派エリートの育成につながる選別プロセスを生み出すことを認識している。

新戦線は、支持者の投獄を必要な犠牲と理解し、長期的には人々の意識の中でその効果を発揮し、運動に注目、関心、尊敬、そして最終的には賞賛をもたらす。

新戦線は、支持者の投獄を指摘し、表現の自由や基本的権利という崇高なフレーズが国民を欺き、内外の隷属のイチジクであることを暴き、体制の偽善を証明することに成功しているのである。

これらの理由から、新戦線は政治闘争において支持者の投獄を受け入れ、それをプロパガンダに利用しているのです。しかし、違法性のカルトを実践することはなく、あらゆる余裕を使い、法律を遵守するよう努め、反対者を迫害し投獄することで自らの誤りを公に証明するシステムに委ねているのです。

このようなナチス禁止条件のもとでの法的革命のための闘いは、新戦線が常に、支持者の迫害とゲシュンゲシュンへの恐怖を取り除き、国家社会主義者のゲシュンゲシュンが長期的には運動に利益をもたらし、支配体制の転覆に貢献するという確信を伝えることに成功する場合にのみ、成功しうる。これに対して、新戦線は、武力抵抗の戦術-人狼-を、自由を求めるドイツの闘いの現在の歴史的段階には不適切なものとして否定している。

## 42 - 利益参加

国家社会主義ドイツ労働者党は、ドイツ社会主義の党であるため、社会主義的な国家共同体の建設に努めています。これは、労働者階級が国民経済の生産資産に参加し、共同責任を負うというコーポラティヴィズムの経済形態で実現される。この目標は、NSDAP党綱領の第14項にある大企業における利益分配の要求によって達成されている。

これは明らかに、国家社会主義人民国家によって国有化された主要産業（「国家」を参照）と、それ以前にすでに社会化されていた企業（「国有化」も参照）を対象としている。なぜなら、このようにして、労働者の仕事への愛着が促進され、成功に対する極めて個人的な関心が喚起されるからであり、彼の利益分配は達成された具体的な利益に依存するからである。

したがって、大きな利益を上げる国営企業はすべて、すぐに再法人化され、株券は生産資産における労働者の不可侵の財産として労働者に発行されるのである。このように、企業コミュニティが企業のオーナーとなるのです。

この規制から除外されるのは、収益事業、非営利目的のため多かれ少なかれ赤字になることが避けられない事業、そして明らかに私有財産であり、中産階級にサービスを提供する中小企業である。そこでは、国富に参画する従業員に対して、法的な補償の取り決めがなされている。

国家社会主義圏では、生産手段に対する処分権は、例外を除いて、依然として私有財産と結びついているので、労働者の所有に移される大企業にとっては、工場共同体が所有者となったので、企業の主人になることを意味する。したがって、利益分配は必然的に労働者の企業に対する共同責任につながる。この共同責任は、権限が拡大され、3分の1パリティに基づいて構成されるワークス評議会によって行使される。労働者評議会の3分の1は国によって任命され、3分の1は後援者であり全労働者の利益を代表する労働戦線によって、そしてもう3分の1は自由な個人選挙で工場コミュニティによって直接選出される。

他の労働者が不利にならないようにするため、国営企業や民営企業でも同様の共同責任を導入しています。民間企業では、労働者評議会は企業、労働組合、労働者コミュニティの代表者それぞれ3分の1ずつで構成されてい

ます。

このようにして、人民同志の富の蓄積とともに、人民の富に対する共同責任と利益分配が同時に促進され、真の社会主義人民共同体が建設されるのである。

## 43 - FAITH

信仰は国家社会主義者の生業だ!信仰は、国家社会主義がその信奉者すべてに要求するものであり、特にその政治的兵士であるシュトゥルム＝アブテイルングに要求するものである。政治家としての十戒のうち、「信」は第一の戒めである。しかし、信仰は本当に求められるのだろうか。むしろ、信じるということは、人間の意志の力とは無縁のものであり、自分が望むと望まざるとにかかわらず、何かを信じたり失ったりするという事ではないだろうか？

実際、国家社会主義者の思想を「信じる」ことはできないし、そうすべきではない。それは、宗教でもイデオロギーでもない。恣意的な信念の教条主義を教えない。国家社会主義とは、簡単に言えば、生命の法則、その環境における人間の生物学的性質と運命の実現であり、種と自然に則した秩序の実現、種の保存と発展のために働くという理想主義的な決意なのだ。一方は科学的知識論としての生物学的ヒューマニズムに代表され、他方は価値観論の倫理学に代表されるものである。新秩序のために戦うために、国家社会主義者は国家社会主義党、ドイツでは国家社会主義ドイツ労働者党に組織化される。そして、この党は今、すべての黨員、とりわけその政治的兵士に、3つの信仰を要求しているのである。

### 党への信頼

同志信仰（同志社を参照）。

### 自己信頼

この戒め：「信仰」とは、思想的な主張などの真偽を問うものではなく、この「信仰」とは、「信じる」という決断のことである。教義に服従するのではなく、自分の人生を共同体に委ね、そこから意味と価値を得るという意志を求めるのです

党を信じるということは、人民の組織された生きる意志であり、国家の政治的前衛組織である党が常に正しいということを知ることである。国家社会主義者が党に対して「正しい」なんてことはありえない。一つ一つの決断が常に正しくなければならぬからではなく、目標が正しく、党によって組織された仕事、党によって導かれた闘いなしには、この目標は決して達成されないからである。

同志への信頼とは、人間のあらゆる欠点や短所にもかかわらず、同志が常にあなたの横に立ち、あなた自身が止めなければならなかった戦いを、何世代にもわたって続けてくれることを信じることである。

自分への信頼とは、自分の力への自信である。信じている人は、往々にして自分が思っている以上に強いものです。彼は信じている限り、どんなことにも耐えることができます。そのため、国家社会主義者はプライドと反抗心を持ち、それを支配するマイナス世界にぶつけることができます。

## 44 - 「EQUALITY」

国家社会主義は、生物学的ヒューマニズムの世界観として、自然法則によって決定される生命の存在に立脚し、あらゆる教条主義を否定する。しかし、そのようなドグマのひとつに、人間の平等性の主張がある。人生の現実には平等ではなく、多様性である（差別化も参照）。人は生物学的に、そして精神的にも、人種や民族、男性や女性といった性別、さらには一人の人間として異なっているのです。生命に奉仕するためには、この多様性を維持し、強化する必要があります。

だからこそ、国家社会主義は、民族と人格の価値の最高の体現を個人の中に見出し、目覚めさせようとする価値理想主義の人間像のために戦うのである。男女の自己実現のために戦う（「メナーブントと母性」参照）。しかし、何よりも民族と人種の種の保存と発展のために戦っているのです。種の保存と発展のためのこの闘いにおいて、国民のすべての構成員は

平等な権利と義務を有する-これこそ唯一の平等である。

誰もが自分の居場所で、自分の能力と傾向に従って、平等な権利と義務を持ち、可能な限り最善の方法で自分の国民と民族に仕えることができることです

だからこそ、国家社会主義ドイツ労働者党は、党綱領の第9項で、すべてのフォルクスジェノッセンに市民として平等な権利と義務を要求しているのです。第0項は、第一の義務として、すべてのフォルクスジェノッセンに対して、精神的または肉体的に創造することを一貫して要求し、それによって、その活動はフォルクスジェマインシャフトの利益にならないとしない限り、すべての義務は同時に権利も含んでおり、それがフォルクスジェノッセンの自由を構成しているのです。最も重要なのは

1. 国家社会のために働く権利と義務。
2. 交配と家族の創設を自由に選択する権利（家族を参照）、優生学と人種法に従って国民の身体を純粹に保つ義務（人種衛生も参照）。
3. 自己の人格を実現するための自由の権利と、この自由を人民と民族の種の保存と発展に結びつけなければならない義務。

これらの権利と義務は、生活の倫理において人民同志の平等を生み出すと同時に、すべての人間の基本的な生物学的不平等を尊重するものである。



# 卍の下で楽しむ

## ゲルハルト・ラウクによる逸話集

### 21.

昔（あまりにも昔）、1940年の戦争のために洗脳された仲間たちから「ナチス！」と呼ばれたことがある。愚かな風潮に逆らうのは簡単なことではありませんでした。そして1942年、徴兵制に反対する愚かな選択として、私は海軍のCBに入隊したのですが、これは私を大馬鹿者にしていたかもしれません。ガダルカナルに送られた私は、手と目、そしてもう片方の目の視力の多くを失いました。戦争から持ち帰った唯一の永久的なものは、FDRの墓に小便をかけたいという燃えるような願望（実現しなかった）であった。

運命のいたずらで、私は1970年に官僚（テキサス州雇用委員会の面接官）になった。素晴らしい給与と福利厚生を提供するアフーマティブ・アクションの仕事を見て、私はシートに“BLACK OR MEXICAN ONLY!”（黒人かメキシコ人）と書いた。

事務所の女性がヅラをひっくり返した。“そんなことしちゃだめよ、だって不法行為なんだから！”それが真実です、と私が答えても無駄だった。命令書は書き直された。そこで私は、この命令が机の上に残っている間に、その立派な仕事を危険にさらして、白人の応募者にこう言ってやった。そして、それを彼らに見せた。2回ほど男性が爆発しました。“連絡先がわかったら、ナチスかKKKに入るよ！”と。私は、彼らが誠実であれば、私が手元に置いている2つのアドレスを渡し、もし彼らが私から受け取ったと言え、私はそれを否定するだけだと、それぞれに伝えました。私は決してフォローアップをしなかった。

職場のリベラル派が、ダラスの編集者に宛てた手紙のコピーを添えて、匿名の手紙を地域担当者に送り、私のような考えを持つ者は国家公務員になるべきではないと提案したのです。彼は怒ったが、解雇の根拠はなかった。それに、私は退役軍人の3大組織に所属しており、障害を持つ退役軍

人を解雇すれば問題が起きることは彼も承知していた。私は、事務所に卑怯な背後霊がいると言って、事務所内に衝撃を与えた。なぜか？なぜなら、その手紙には私の自宅の住所が書かれていたからです。その町で私が滞在した場所ではなく、彼らが知っている以外のこの名前はなぜなのでしょう？そして、その手紙は州本部ではなくエリア・スーパーバイザーに送られ、指揮系統がどこにあるのかを知っている者は、オフィスの外にほとんどいなかったのです。それ以来、彼らは私をひどく恐れて、まるで卵の上を歩くかのように行動するようになった。それに、彼らのほとんどは良い友達になった。4年半後、私は完璧な記録と、気が変わったら再雇用してもらえるような推薦状を手に入れました。

そこで私は農場に戻り、たくさんの「編集者への手紙」を書いた。ダラスのユダヤ人が、私の故郷のPLOの宣伝担当として、私宛に手紙をくれたのだ。郵便配達員は誰に配達すればいいかわかっていたに違いない。

その後、「素敵なクリスチャンの女性」が、「私を反ユダヤ主義の罪から救おう」と決意して、私に手紙を書き始めた。しかし、ある手紙の中で私は、薄汚い、裏切り者の、淫乱なFDR老人は、絞首刑を免れた史上最高の悪党であるという意見を述べた。彼女は、自分の身を守ることができなくなった死者を悪く言うのは罪であると教えてくれたが、私はそんなことは聖書には書いていないと言った。しかし、その情報は私を二重に喜ばせた。というのも、彼女の中に、死者でありながらもはや自分の名を守ることができない哀れなアドルフ・ヒトラーを決して悪く言わない人物を発見したからである。驚いた。彼女は二度と私に手紙を寄こさなかった。彼女は私が十分に「救われた」と思ったのだろう、他の貧しい罪人たちと一緒に時間を過ごした。



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERTREUE AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

*Der Kampf geht weiter!*

Seitlich Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrhundert von Massenmord, Verbrechen, Verfolgung und Verbannung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der gesamten Welt unsere hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu vernichten.

Alle Nationalsozialisten sind weniger affekthaltige Volk- und Rassenmenschen als ein Schicksal im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwiegend Gegner ist aber dabei, dem Volkstum – gegen alle weißen Völker (?) – zu begehen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überfremdung und Homosexuellenverfolgung.

Ein "tagel" oder "tagel", ob im Wahlkampf oder im Streikkampf, ob als Propagandamittel innerhalb oder auf einem internationalen Kongress. An: Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler  
Gottfried Lenz




N.S.ニュース速報A  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005 19.06.2022 (133)  
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート  
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningthescient.com/truth.htm](http://www.mourningthescient.com/truth.htm))に集中していますが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。一つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (126)

*The Fight Goes On!*

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "tagel" or "tagel", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!  
Gottfried Lenz



## NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO nsdapao.info**